

金ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/01/31号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

FRB議長会見、タカ派印象にゴールド急落

SPDR Gold Shares円建価格



ゴールドとドルインデックス



前週はほぼ2ヶ月ぶりの高値を付けてから、1ヶ月ぶりの安値に沈むという激しいマーケットになりました。1月のFOMCが日本時間の木曜日早朝に終わり、その内容はほぼ市場予想通りでしたが、パウエル議長の会見が予想以上にタカ派の印象を与え、長期金利は1.77から1.88%まで一時急騰、それによりゴールドは急落、1845ドルから1780ドルまで70ドル近くの下げとなりました。パウエル議長は、インフレの状況はslightly worse若干悪化しているが、雇用マーケットに悪影響を与えずに利上げをする余地はある、としました。長期金利の上昇はその後収まりましたが、ドルは2年降りの高さにまでドルインデックスが上昇、これによりゴールドが1800ドルを割り、損切りの売りが加速され、このような大きな下げになりました。FRBは雇用よりもインフレ対応に力を入れることがはっきりとし、これが一部の投資家がゴールドに見切りをつけた最大の理由でしょう。そして、10年の「実質金利」が年初のマイナス1.04%から、現在マイナス0.53%とほぼ50bpsも上がったこともゴールドにとってはネガティブな要因となっています。この大きな下げがここまで上昇してきたゴールドのトレンドを変えるものとなるのかどうか、今週の動きはその鍵を握ることになりそうです。1800ドルというゴールドのレベルは昨年6月から動いていたレンジの真ん中にあり、ここから大きく逸脱することはないのではと思います。下値目処は1770ドルでしょうか。Nasdaqを筆頭とした株式市場の大幅な下落、緊張度が増す一方のウクライナ情勢等地政学リスクも、ゴールドのここからの一方的な下落はなく、逆に投資家のリスクオフの動きでここは絶好の買い場とするアナリストもいます。今週の動きでなんらかの方向が見えるかもしれません。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクリーマー）をお読み下さい。

【マーケット・トピック】

ゴールド・マーケットー先物市場

ゴールドマーケットの中心はLoco London marketだとこれまで書いてきました。それはOTC（Over the Counter：相対取引）のスポット取引（二営業日後に決済）で、外国為替市場と同じ仕組みでした。ドル建てゴールドの価格は「1オンス当たりのゴールドと米ドルの為替（exchange rate）」だと言い換えることができます。しかしこのスポットのOTC取引に対して、取引所で定型化された「先物取引」が貴金属には存在します。外国為替にもIMMという先物取引がシカゴに存在しますが、為替マーケット全体におけるウェイトはほぼ無視できるほど小さなものです。しかし貴金属マーケットでは、先物取引、特に米国のCME（Chicago Mercantile Exchange）に属するComex（Commodity Exchange - Gold & silver）そしてNymex（New York Mercantile Exchange-Platinum and palladium）という二つの米国の先物取引が、Loco London spot とほぼほぼ同じ規模で取引しており、マーケットに対する影響力は為替の市場での先物取引の比ではないほど重要なものです。ゴールドの取引の大部分はLBMA（Loco London spot）とComexが占めているのがよくわかります。この二つのマーケットでの取引が世界のゴールドの取引をまさに二分していると言っていいでしょう。（下：年間取引高表-Metals Focus）

Annual Turnover on Major Commodity Exchanges & LBMA¹

Tonnes	2019	2020	Y/Y
LBMA	261,804	288,981	10%
COMEX ²	269,072	243,004	-10%
SGE Spot ³	2,320	1,655	-29%
SGE T+D ³	9,337	9,892	6%
SHFE ³	46,209	52,401	13%
Tocom	8,430	8,418	0%
COMEX, Micro ²	1,775	6,767	281%
MCX	3,626	3,669	1%
Borsa Istanbul	281	731	160%
DGCX	478	387	-19%
LME	840	6	-99%



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクリーマー）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>

【E-mail】 info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで

